

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

様式1

No. 0901015

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	B	
単位施策	2 担い手(人・組織)の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	酪農ヘルパー制度強化推進事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町酪農振興会	関係課	#N/A	
事業指標	酪農ヘルパー利用の向上		#N/A	
事業目標	専任ヘルパー 1名増員	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	2	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度																																																											
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容																																																											
計 画 内 容	<p>農業後継者の育成・確保には、農業者の他産業従事者並みの労働時間とすることが重要であることから、農休日等を設定し快適でゆとりある環境の整備を図るため、専任ヘルパーの増員・確保に努める。</p> <p>また、緊急時等におけるヘルパー利用に対応するためにも専任ヘルパーの増員確保は重要であり、人材確保の推進により充実した農業経営が行えるよう努める。</p>	<p>専任ヘルパー1名増による事業運営費助成</p> <p>事業費 28,300千円 利用収入 22,800千円 振興会繰出 2,500千円 国庫補助金 1,000千円 町補助金 2,000千円</p>	<p>専任ヘルパー1名増による事業運営費助成</p> <p>事業費 28,300千円 利用収入 22,800千円 振興会繰出 2,500千円 国庫補助金 1,000千円 町補助金 2,000千円</p>	<p>専任ヘルパー1名増による事業運営費助成</p> <p>事業費 28,300千円 利用収入 22,800千円 振興会繰出 2,500千円 国庫補助金 1,000千円 町補助金 2,000千円</p>	<p>専任ヘルパー1名増による事業運営費助成</p> <p>事業費 28,300千円 利用収入 22,800千円 振興会繰出 2,500千円 国庫補助金 1,000千円 町補助金 2,000千円</p>	<p>専任ヘルパー1名増による事業運営費助成</p> <p>事業費 28,300千円 利用収入 22,800千円 振興会繰出 2,500千円 国庫補助金 1,000千円 町補助金 2,000千円</p>																																																											
	<p>事業費(千円) 10,000</p> <p>財源内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>国庫支出金</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>道支出金</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td>4,000</td><td></td><td></td><td>2,000</td><td>2,000</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>6,000</td><td>2,000</td><td>2,000</td><td>2,000</td><td></td></tr> </table>	国庫支出金	0					道支出金	0					地方債	4,000			2,000	2,000	その他	0					一般財源	6,000	2,000	2,000	2,000		<p>事業費(千円) 10,000</p> <p>財源内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>国庫支出金</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>道支出金</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td>6,000</td><td></td><td></td><td>2,000</td><td>2,000</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>4,000</td><td>2,000</td><td>2,000</td><td></td><td></td></tr> </table>	国庫支出金	0					道支出金	0					地方債	6,000			2,000	2,000	その他	0					一般財源	4,000	2,000	2,000					
国庫支出金	0																																																																
道支出金	0																																																																
地方債	4,000			2,000	2,000																																																												
その他	0																																																																
一般財源	6,000	2,000	2,000	2,000																																																													
国庫支出金	0																																																																
道支出金	0																																																																
地方債	6,000			2,000	2,000																																																												
その他	0																																																																
一般財源	4,000	2,000	2,000																																																														
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)酪農ヘルパー制度強化推進事業債	<p>【評価・実績】</p> <p>(実施内容等) 専任ヘルパー 1名増</p> <p>※前年度評価結果</p>	<p>(実施内容等) 専任ヘルパー4人体制維持</p> <p>※前年度評価結果 A-継続/現状維持</p>	<p>(実施内容等) 専任ヘルパー4人体制維持</p> <p>※前年度評価結果 A-継続/現状維持</p>	<p>(実施内容等) 専任ヘルパー4人体制維持</p> <p>※前年度評価結果 A-継続/現状維持</p>	<p>(実施内容等) 専任ヘルパー4人体制維持</p> <p>※前年度評価結果 A-継続/現状維持</p>																																																											
	第4期総合計画関連(継続無し)	<p>年度目標値 1名増員</p> <p>年度達成率 100%</p> <p>全体達成率 20%</p> <p>事業進捗状況 ☆☆☆☆</p>	<p>4名体制維持</p> <p>100%</p> <p>40%</p> <p>☆☆☆☆</p>	<p>4名体制維持</p> <p>100%</p> <p>60%</p> <p>☆☆☆☆</p>	<p>4名体制維持</p> <p>100%</p> <p>80%</p> <p>☆☆☆☆</p>	<p>4名体制維持</p> <p>100%</p> <p>100%</p> <p>☆☆☆☆</p>																																																											

事業名	酪農ヘルパー制度強化推進事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井弘道
		評価者 作成者 職氏名	農務係主査	宇野敏志

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	酪農ヘルパー制度利用農家	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	ヘルパー4人の確保								
【抱える課題やニーズは】	酪農ヘルパーの不足	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	4人体制の整備	① ヘルパー数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>4人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>4人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	4人	実績値	4人	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	4人										
実績値	4人										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	利用農家が希望時に利用できる体制整備	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	<table border="1"> <tr> <td>人員の確保</td> <td>4人体制整備に係る事業費の一部補助</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	人員の確保	4人体制整備に係る事業費の一部補助								
人員の確保	4人体制整備に係る事業費の一部補助										

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	周年拘束性の高い酪農従事者の生活環境の維持・向上を図るために必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	目標としているヘルパー4人体制が図られている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	酪農家のニーズに沿った利用が可能となる。また、ヘルパー4人体制整備に係る補助金の支出であり、コスト削減等の余地はない。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	酪農振興会が本補助金の他、利用者から負担金を徴収して運営しており、また、酪農業全体の生活環境の維持・向上につながるものであることから、公平であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
4名体制の整備により多くの酪農家の利用が可能となり、酪農家の生活環境の維持・向上につながる。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
本町の基幹産業の一つである酪農業の継続的な発展を図るため、引き続き事業の実施が必要である。		

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止